

経営比較分析表（令和5年度決算）

秋田県横手市 横手病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	200床以上～300床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	16	対象	ド透訓	救 陸 感 輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
82,454	16,112	非該当	非該当	7：1

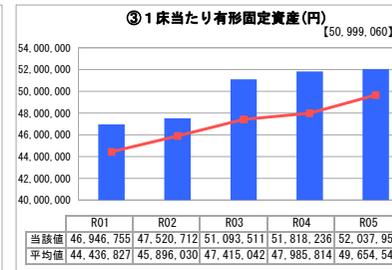
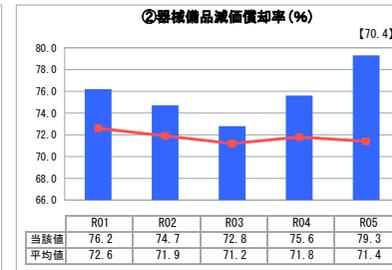
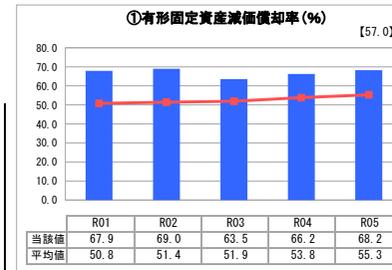
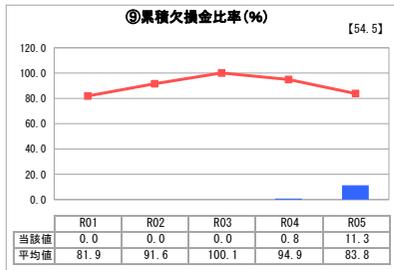
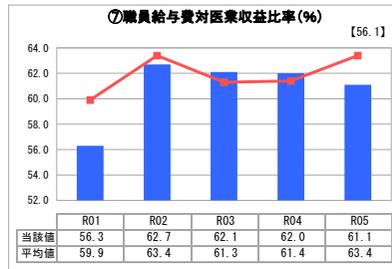
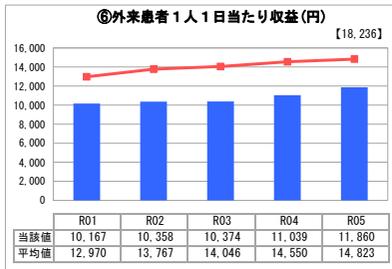
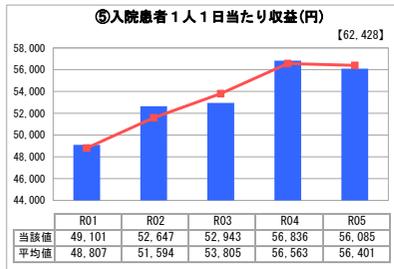
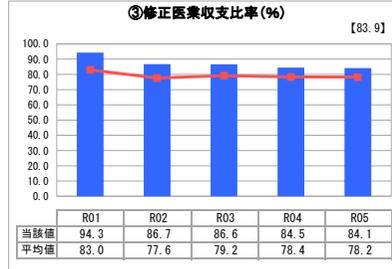
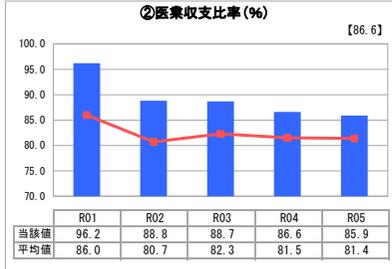
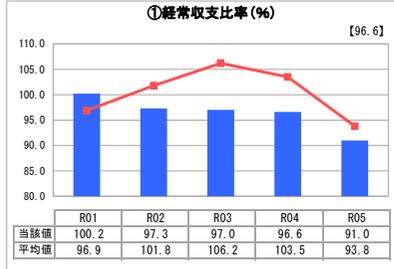
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
225	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	229
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
184	-	184

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
-	類似病院平均値（平均値）
[]	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

業務分限・連携強化 (従来の可搬・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度

I 地域において担っている役割

生命と健康を守り、地域の健全な発展に貢献することを目的とし、県南唯一の消化器センターを設置し、他地域からも多くの患者を受け入れている。在宅療養後方支援病院として、地域包括ケア病棟を開設し、多職種の医療従事者が在宅・施設での療養に繋がる連携を行っている。また、第2種感染症指定医療機関として、秋田県内の新型コロナウイルス感染症患者の受入れを行っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営の健全性を示す経常収支比率は、新型コロナウイルス感染症に係る補助金がほぼ無くなり、収益が大きく減少した。また、原材料の高騰に伴う材料費や光熱水費、燃料費等の執行額の増により、前年度比5.6ポイント減の91.0%となった。経営の収益性を示す医業収支比率は、医業収益が前年度より増加したが、医業費用は前述の理由により執行額が増加したことにより、前年度比0.7ポイント減の85.9%となった。

2. 老朽化の状況について

償却対象資産の減価償却の状況を示す有形固定資産減価償却率は、医療機器の購入額やネットワーク機器、電話設備の更新に係る費用より減価償却額の執行額の方が大きかったことから、前年度比2.0ポイント増の68.2%となった。今後、高額の医療機器の更新時期を迎えることから、経営状況の改善に取り組むとともに、引き続き計画的な施設・医療機器の更新を行っていく。

全体総括

経営的に今後も急性期病棟と地域包括ケア病棟の効果的な運用により、安定的経営を目指すものであるが、地域の人口減少等の影響もあり、患者数は以前の水準までの回復は見込めない状況となっている。令和3年度に完了した改修工事に伴う減価償却費の増加や新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日をもって指定感染症から類感染症に位置付けが変更となり、各種補助金が大幅に減少したこと等から引き続き厳しい病院経営となることが予想される。将来の医療需要に対応した機能分化・連携を推進し、地域の方々に信頼される医療の提供を目指す。

※1 類似病院平均値（平均値）については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。